

前期基本計画評価・検証一覧表

■基本政策 子どもが元気に育ちいきいきと活動する加西

×・・・0%、△・・・25%、○・・・50%、◎・・・75%、終了・・・100%

施策番号	施策名	枝番	戦略アクションプラン番号	基本計画等	取組方針	指標	取り組み・課題	達成率	備考
1	誰もが学べる学習環境づくり	1	5-88	公民館を中心に市域をキャンパスとする「生涯学習パスポート」登録制度を活用し、新しい仲間づくりを進めます。	↗		平成23年度に生涯学習パスポート事業の立ち上げを行い、半期毎に「生涯学習メニュー」を作成し、学習者に配布を行った。また、各公民館等において新規学習者へ情報提供を行った。さらに、平成26年度から紙媒体である情報提供制度を見直し、HPやブログ、SNS等により学習者へ情報提供を行った。	○	
		2		公民館登録グループによる社会貢献活動推進のため、研修会やコーディネート等の支援を行います。	→	公民館登録グループ社会貢献活動コーディネート制度(公民館出前講座)参加グループ数	平成24年度から実施し、実施延回数は年々増加しているが、参加する登録グループには偏りが見られる。		
		3		幅広く高度な情報が提供できるよう図書館サービスを拡充します。	→	年間図書館来館者数	アスタカさいへの集客も視野に入れた各種イベント・特集を充実、さらにいち早く播磨全域の住民に貸出範囲を拡大した。また加西市の公共交通の利便性等をも鑑み、学校園への図書配送回収サービスを実施、子どもたちの読書活動の推進を図った。		
		4		住民による芸術文化活動、発表機会をまちなかに創出します。	↗		市文化団体と連携して市文化祭をはじめとする文化事業を開催している。市民団体との間に粘り強く信頼関係を構築し、単に行政が提供する文化サービスを受受するのではなく、ともに参加・運営する文化施策の構築に理解を求めている。		
		5	5-83	地域での子どもの共育活動を推進します。	新規	土曜チャレンジ学習事業			
2	主体的な青少年活動	1		総合教育センターを活用し、多様なボランティアグループや地域との連携による若者広場事業を推進します。	→	若者広場事業数	総合教育センター職員が、青年連絡会「えんどれす」に対して指導や支援を実施している。	◎	
		2		地域のお兄さん、お姉さん、あるいはおじさん、おばさんとして、より近い立場で中高生に接していくユースサポーターの育成と支援を行います。	→	ユースサポーター数	総合教育センターがジュニアリーダー教室や野外活動指導者講習会を実施している。		
3	地域で楽しめる体力づくり	1		既存施設の有効活用やコース設定等、住民が身近な場所でスポーツに楽しめる機会を拡充します。	→	市が所管するスポーツ施設の利用者数	多目的グラウンドをグラウンドゴルフとフットサルができる競技場として改修を行った。また、アクアスカさいの天然芝張替を行い利用者の増加を図った。	○	
		2		地域に密着して活動しているグループのリーダーや指導者を養成し、活動を支援します。	→		スポーツ教室と関連した指導者の養成講座を開催。		
		3		高齢者や障がい者を含めたスポーツ、レクリエーション活動を推進します。	→		ニュースポーツ教室8回実施。5種目のスポーツ教室開催。		
4	出会いを求める若者の応援	1	1-17	若者が信頼のおける人を介して参加登録できるサポート制度を構築します。	→	カップル成立組数	行政が実施するのではなく、ノウハウのある民間事業者と連携することで、効率よく運営することができている。また、民間事業者による運営であるため、経費を要しない。	○	
		2		職域相互の若者交流等、若者が気軽に出会えるイベントや交流機会の創出を支援します。	→	職域交流事業数	企業間の調整等が困難で、今年度は商工会議所を通じて実施した。今後もこのスタイルでの実施が望ましいと考える。		

前期基本計画評価・検証一覧表

■基本政策 子どもが元気に育ちいきいきと活動する加西

×・・・0%、△・・・25%、○・・・50%、◎・・・75%、終了・・・100%

施策番号	施策名	枝番	戦略アクションプラン番号	基本計画等	取組方針	指標	取り組み・課題	達成率	備考	
5	特色ある教育	1	5-82	義務教育9年間を見通した小中連携強化及び小中一貫教育に対応した学習指導計画を推進し、幼小、小中連携を強化します。	→		加西市小中連携推進プランの策定。 小中連携推進委員会の開催。 小中連携推進にかかわる予算の確保。	◎		
		2		小中教員の連携、外国人語学指導助手の増員により、小中学校の外国語教育を充実します。	→	外国語指導助手の配置人数	ALT配置については、質的な向上を図るため、委託業者をプロポーザル方式で選定し、さらに複数年契約を結んだ。			
		3		情報端末の整備により、子どもたちの情報活用力を向上させます。	→		5年毎にPCリースを更新し、新しいOSで授業等を行ってきた。今後は、Ipadの導入も進めていくが、セキュリティについての対策が必要となる。			
		4		加西の風土、文化、自然を活かした環境教育カリキュラムを実施します。	→	小中学校での体験型環境教育の年間時間数	小学校では、県教委事業によるカリキュラム整備や地域人材の確保などが充実し、成果を上げている。中学校においては、理科を中心とした教科学習の範疇、とりわけ知識教授型の環境教育にとどまっている。			
		5		個々の能力に応じた特別支援教育の充実を図ります。	→	特別支援教育担当者や特別支援教育コーディネーター等を対象とした研修の開催数	特別支援教育の推進について、着実に前進している。今後は、幼稚園との連携強化や高等学校との連携を図る取組を展開したい。			
		6	5-86	総合教育センターを活用し、校種間連携強化や一貫教育に向けた研修を充実します。	→	総合教育センターにおける研究講座数	総合教育センターの研修講座において小中連携教育研修講座を実施するなど校種間連携のための研修講座を実施した。			
		7	5-85	特色のある部活や教室を設置します。	新規	指導者研修会の実施数				
		8	5-87	地元高校の活性化を支援します。	新規	ゼミ受講者				

前期基本計画評価・検証一覧表

■基本政策 子どもが元気に育ちいきと活動する加西

×・・・0%、△・・・25%、○・・・50%、◎・・・75%、終了・・・100%

施策番号	施策名	枝番	戦略アクションプラン番号	基本計画等	取組方針	指標	取り組み・課題	達成率	備考
6	安全安心で潤いのある学校	1	5-84	鉄筋コンクリート、鉄骨造校舎で耐震性の低い施設から耐震補強工事を行い、改修工事も同時施工します。	→	学校耐震化率 (鉄筋コンクリート・鉄骨造)	平成21年度より、耐震補強と地震改築により耐震化事業を計画通り進めて来た。	◎	
		2		木造校舎の耐震診断結果を踏まえ、早期に耐震化工事を行います。	→	学校耐震化率(木造)	平成24年度より、地震改築により耐震化事業を計画通り進めて来た。		
		3		緑化整備や太陽光発電、雨水活用、自然採光等の省エネ化を推進します。	廃止	学校施設における太陽光 発電量	耐震化工事と合わせて、設置を進めて来た。平成27年度に設置工事は完了するが、今後、蓄電池の更新が定期的に必要となる。		
		4		学校整備計画に応じた給食調理場を整備し、全中学校給食を実施します。	廃止		平成26年1月より、全中学校給食が完全実施できた。		
		5		住民参画による小中学校再編についての話し合いを行います。	廃止		平成23年7月22日に学校あり方検討委員会より、市長へ答申があった。当委員会は平成22年8月23日に市長が市内小中学校のあり方について諮問を受け、答申書としてまとめたため報告をした。加西市としてこの答申を尊重のうえ、教育委員会の判断・独自性を十分考慮して対応するものとした。	-	
		6		学校施設の改修工事を計画的に行い、長寿命化を図る。	新規				
		7		南部学校給食センターの改築を行い、単独調理場の統廃合を行う。	新規				
7	地域に開かれた学校づくり	1	6-93	ゲストティーチャー等の活用により地域全体で学校教育を支援する体制を整備します。	→	ゲストティーチャーの実人数	すでに継続してゲストティーチャーとして協力いただいている方々以外の新たな人材の発掘は難しい。	◎	
		2		小中学校に地域の住民が立ち寄れる広場を設けます。	→	校内交流広場設置数	総合教育センターの地域コーディネーターが学校支援地域本部事業を推進している。		
		3		学校評議員制度やオープンスクール、学校評価の公表等を通して地域に信頼される学校づくりを推進します。	→	オープンスクール参加者数	学校づくり応援事業などにより、各校の特色ある学校・開かれた学校づくりへの取組を支援できている。各校ごとにその取組の周知・広報についての工夫が必要である。		

前期基本計画評価・検証一覧表

■基本政策 雇用と経済が元気を取り戻す加西

×・・・0%、△・・・25%、○・・・50%、◎・・・75%、終了・・・100%

施策番号	施策名	枝番	戦略アクションプラン番号	基本計画等	取組方針	指標	取り組み・課題	達成率	備考	
8	裾野の広い農業の育成	1	3-60 4-65	神戸大学、農業大学校、加西農業改良普及センター、播磨農業高校等の学術研究機関と連携し、新規就農希望者、認定農業者等を対象とした公開講座を開催します。	→	「かさい農業塾」の開催回数	農業改良普及センターによる講座は集落営農協議会の活動において取り組んでいるが、他の機関との連携推進がこれからの課題である。	○		
		2	2-46	生産・加工・販売の一体的な6次産業化に向け、起業者への支援を行います。	→		農業生産と加工販売を同一経営体が運営するには、かなりの気力と労力及び資金が必要となるため、リーダー育成と意識改革が必要となる。			
		3	2-47 3-62	地元関係団体と協力しながら、新規就農希望者や市民農園利用者に対し、技術指導や農地の斡旋ができる制度を構築します。	→	市民農園数	新規就農者及び新規就農希望者への研修受入制度を整備したが、フル活用できていない。			
		4	2-49 2-50	新規就農や地域雇用の受け皿となる農業法人の設立と参入を推進します。	→	農業法人数	法人数は増えたものの、雇用の受け皿としての実績は少ない。			
		5		認定農業者や農業法人への農地の利用集積を支援し、補助制度を充実します。	→	農用地利用権設定面積	集落営農組織の整備及び認定農業者の増加、また人・農地プランや農地中間管理事業の開始によって集積は進んだが、担い手がいない地域の課題解決を進めなければならない。			
		6		多様な農家が共存し、安心して住み暮らせる共同体による農村環境を整備します。	→		活動組織の規約や活動計画の変更に係る採択変更、活動状況の確認等の事務処理に加え、活動組織に対する指導・助言を継続的に実施。			
		7	2-48	ICTを活用した施設園芸の普及に努めます。	新規	施設園芸年間新設数				
		8	3-59	「食と農」に関連する分野等の大学のサテライトキャンパスを加西市へ誘致します。	新規	サテライト機能の具体化				
9	地域資源を活用した産業振興	1	4-66	ぶどう、米粉等の加工や加西産野菜を食材利用する事業者を支援します。	→		加西ブランド協議会が加西産農産物を使った高級カレー「加西香酸カレー」を企画開発した。「加西の酒で乾杯を推進する条例」の制定に伴い、加西の酒のPRを行った。	○		
		2		加西産野菜の学校給食への提供等、地産地消事業を推進します。	→		加西産農産物を学校給食に使用するため、JAと食材調達、配送委託及び食材差額補填を行ったが、業務ルートに関係者が介在しすぎて食材調達調整に支障をきたしている。			
		3	2-52	地域ビジネス講座を拡充します。	→		商工会議所と連携を図り、商工業の振興と地域経済の活性化を目指して、各種ビジネス講座を開講した。			
		4	3-57	加西産品の情報発信、サービスエリアからの誘導、直売所やスーパーにおける販売を促進し、加西まるごと市場を進めます。	→	加西産品の販売店舗数	「加西ふーど記」の作成、物産展への積極的参加を継続的に行うとともに、「加西喝采みやげ」事業を立ち上げ、加西の土産品、特産品のブランド化を行う。	○		
		5		ポイントカード事業、ネットモール運営事業を支援します。	→	卸売業小売業年間販売額	ポイントカード事業、住宅リフォーム助成事業やプレミアム付市内商品券事業の市支援については、市内商業活性化に寄与していると考えられます。	○		
		6	4-67	中小企業事業資金融資制度の見直しと充実を行います。	→	製造品出荷額	積極的に制度の周知を図った。また金融機関と連携により、円滑な制度運用が出来ている。			
		7	2-39 4-68	地元企業も進出しやすい新規産業団地を整備します。	→	市内総生産(名目)	市内6箇所の候補地を選定し検討を行った。	○		
		8		宿泊施設の充実とホテルの誘致を推進します。	→		ホテル誘致を推進していくため、民間事業者の活力とノウハウを活用し、誘致に向けた必要な協議や協力を積極的に行う。			
		9	3-56	魅力ある商業施設の誘致を図ります。	新規	卸売業・小売業年間販売額				

前期基本計画評価・検証一覧表

■基本政策 雇用と経済が元気を取り戻す加西

×・・・0%、△・・・25%、○・・・50%、◎・・・75%、終了・・・100%

施策番号	施策名	枝番	戦略アクションプラン番号	基本計画等	取組方針	指標	取り組み・課題	達成率	備考	
10	加西に住んで働ける就労支援	1	2-37	新卒者等若者へ魅力ある市内企業就職情報を提供します。	→	若者の加西市残存定住率	加西市雇用開発福祉協議会、ハローワーク西脇と連携を図り、合同就職面接会を開催したり、就職ポータルサイトで企業情報を提供するなど、UJターンの推進を図った。	○		
		2		働きたい仕事が見つかるよう求人情報を整理し情報量や提供範囲を広げて利用機会を高めます。	→		小学生親子を対象とした産業ツアーは、工場での体験時間を増やすなどの工夫により、モノづくり企業の魅力を感じてもらった。またふるさとハローワークについては、市内外の方々への周知徹底により、利用者の増加を目指している。			
		3	2-34	若者が働きたくなる産業の創出、誘致を推進します。	→	市内企業における住民就労率	毎年、産業(工業)団地を含む市内企業を対象に雇用アンケート調査を行い、若年者の新規雇用の状況及び就業形態、労働者の居住地域などの分析を行った。			
		4	2-38	ハローワークとの連携を強化し、再就職をめざす女性に情報提供や再就職講座を実施します。	→		平成26年1月にふるさとハローワークが開所。他担当や他機関と担当者会議を通じて連携し、円滑な運営に努めた。利用者の増加を図る施策として、セミナーを定期開催した。			
		5	2-32	市内企業への高校生の就職を支援します。	新規	市内事業所高校新卒正規社員年間採用者数				
		6	2-33	働く女性の雇用を推進します。	新規	市内事業所女性従業員正社員率				
		7	2-36	返還している奨学金への助成により、UJターンによる定住を促進します。	新規	UJターン者数(平成27～31年度累計)				
		8	2-41	若者の夢の実現や地域活性化、定住促進を図るための支援に努めます。	新規	若者チャレンジ事業助成制度による支援件数				
		9	2-42	若者等の起業支援や後継者育成のための支援に努めます。	新規	若者起業支援年間件数				
		10	2-45	創業希望者に対する支援体制を構築します。	新規	年間創業者数				

前期基本計画評価・検証一覧表

■基本政策 雇用と経済が元気を取り戻す加西

×・・・0%、△・・・25%、○・・・50%、◎・・・75%、終了・・・100%

施策番号	施策名	枝番	戦略アクションプラン番号	基本計画等	取組方針	指標	取り組み・課題	達成率	備考	
11	加西らしい観光サービス	1		文化財サポーターや地域文化財を継承する活動を支援します。	↗	文化財の新規指定・登録件数	五百羅漢の悉皆調査を月1回2時間程度実施している。	◎		
		2	3-58 6-92	産業ツーリズムやエコツーリズムといったテーマやイメージカラーで地域資源をつなげる観光ツアーを企画し、市内外に加西の魅力情報を発信します。	→	観光まちづくり協会と連携する観光ツアーの参加者数	ボランティアガイドや神戸電鉄と共催でまち歩きやハイキングツアーを企画するとともに、バス助成制度や独自のツアーを行い、多くの観光客を加西市へ誘客した。	◎		
		3		平成24年度に加西市観光推進基本計画を策定。その計画に基づき、5年間重点プロジェクトを中心に施策をすすめる。平成26年度は「観光まちづくり協会の組織強化」として、事務局長と局長2名の計3名体制を確立した。	→		平成24年度に策定した「加西市観光推進基本計画」を元に、事業を展開した。平成27年度は「加西喝采みやげ」事業を行い、加西の特産品のブランド化を行った。			
		4	2-51	田舎体験の実施により、地域振興を図るとともに、地域の魅力を発掘し、高めます。	新規	田舎体験プログラム年間参加人数				
		5	3-54	観光拠点のネットワーク化を図ります。	新規	観光施設WiFiスポット数				
		6	3-55	緑豊かな森の中に、市のキャラクターをモチーフとするアート空間の整備を推進します。	新規	根日女の森整備構想とりまとめ				
12	魅力ある中心市街地の形成	1		市所有未利用地の住宅開発を促進するための周辺整備を行います。	→	市保有未利用地の住宅開発箇所数	消防署跡地については情報提供に財務局HPを活用するなどしているが売却に至っていない。	△		
		2	1-31	住宅供給会社等と連携し、土地区画整理事業済み地内の住宅化を促進支援します。	→	西高室地区区画整理事業により整備された住宅戸数	事業施行に伴い技術的支援や、助成規則に基づき助成を行うとともに、社会資本整備総合交付金 都市再生整備計画の採択を受けるなど財政的支援を行った。	○		
		3		北条地区(旧市街地)の街道筋で、歴史的な街並みを残している区域について、地域住民と行政の協働で、県の景観形成地区や文化財の指定を受け、規制、誘導方針によって旧市街地の歴史的街並みを継承、保全します。	→		景観の形成に関する条例に基づく届出の手続きに合せ、北条地区の歴史的まちなみ景観に配慮した、適切な指導・助言に努めている。			
		4	2-40 2-43 2-44	北条町駅周辺を中心市街地は、暮らしの機能を支える商業施設の集積化を図ることで、暮らしの場の再生と、歩いて暮らせるまちづくりを進めます。	→	市街化区域内の商業店舗立地件数	平成26年度より空き店舗補助制度及び店舗・オフィス立地補助制度を創設した。また、平成27年度に創業支援事業計画を策定し、創業希望者に対する支援を実施している。	-		
		5		空き家、空き店舗情報の収集と登録データの発信により、希望者に物件を紹介します。	→		空き店舗バンク制度導入の検討を行った。			
		6	1-25	新たな土地区画整理事業等を推進します。	新規	土地区画整理事業等の推進により確保した住宅戸数				
		7	1-27	市街化区域において土地利用を推進し、住宅地等の整備と確保に努めます。	新規	宅地供給面積				
		8	1-28	賃貸共同住宅の建設促進による供給戸数の増加を図ります。	新規	賃貸供給戸数(平成27～31年度累計)				

前期基本計画評価・検証一覧表

■基本政策 雇用と経済が元気を取り戻す加西

×・・・0%、△・・・25%、○・・・50%、◎・・・75%、終了・・・100%

施策番号	施策名	枝番	戦略アクションプラン番号	基本計画等	取組方針	指標	取り組み・課題	達成率	備考	
		9	4-74	空き家・空き店舗を幅広く活用したまちづくりを進めます。	新規	空き家・空き店舗年間助成数				
		10	4-78	住環境整備による定住促進を図ります。	新規	北条市街地の住環境整備により確保した住宅戸数				
13	周辺地域の定住促進	1	3-63 3-64 4-76 4-77	住居と畑をセットにした潜在型施設として空き家や貸し農園を活用し定住促進に結び付けます。	ノ	お試し滞在施設数	空き家バンクへの登録を広報等で周知依頼。空き家問題を市としてどのように考えるかの方針を定める	-		
		2		県の特別指定区域制度における「新規居住者の住宅地域」の地区指定を支援します。	→	新規居住者地区住宅戸数	平成23年5月に、宇仁地区で「新規居住者の区域」を指定を受けた。また、加西市定住促進まちづくり助成金交付要綱に基づき、新規居住者の住宅区域における整備計画策定助成や、公共施設整備助成事業を行っている。	○		
		3	1-26 1-30	若者向けの持ち家促進のための取り組みを推進します。	→	加西市若者世帯持家促進補助制度の受給者数	平成26年度より、土地取得要件を撤廃し、定住人口の増加を図った。また、産業（工業）団地等の市内事業所や不動産業者等へ制度周知を行った。	◎		
		4	4-75	特別指定区域制度等を利用した加西インターチェンジ周辺の有効利用を進めます。	→		地縁者の住宅区域の拡大指定を受けるとともに、周辺地区において新たに目的型特別指定区域の指定を受けた。	○		
		5	3-53	鵜野飛行場跡地周辺の有効活用を進めます。	→		・防衛局・財務局との払い下げ協議を継続実施。 ・払い下げについて、引き続き防衛省及び財務省と協議し、公共随意契約に向けた事務手続きを進める。 ・歴史と平和を継承するまち鵜野地区都市再生整備計画策定。	◎		
		6		住民が住まい物件の情報を適切に得られるよう、不動産情報の発信を充実させます。	→		市HPや広報で地縁者の住宅区域や新規居住者の住宅区域のPRを行った。また、「ベルデしもさと」分譲にあたり、チラシや市ホームページでもPRに加え、ハウスメーカー等にもチラシを配布した。	○		
		7	1-24	若者世帯が住みやすい住宅分譲地の整備を進めます。	新規	住宅分譲地の整備により確保した住宅戸数				
		8	1-29	定住先の決まっていないカップルを対象に市内の不動産情報の提供等を通じて定住促進を図ります。	新規	かさいふたリズム推進事業年間利用件数				
		9	2-35	近隣市町等と連携し情報発信の強化を図り、便利な田舎としての魅力のPRに努めます。	新規	出張相談会年間参加数				

前期基本計画評価・検証一覧表

■基本政策 雇用と経済が元気を取り戻す加西

×・・・0%、△・・・25%、○・・・50%、◎・・・75%、終了・・・100%

施策番号	施策名	枝番	戦略アクションプラン番号	基本計画等	取組方針	指標	取り組み・課題	達成率	備考
14	公共交通網の構築	1	4-71	コミュニティバスの再編と住民運営バス等の導入を進めます。	→	コミバス等の利用者数	現行の公共交通に対する利用促進を行うとともに、交通網の見直しにつながる地域主体型交通導入ガイドを作成している。	○	
		2		民間事業者が運行する広域的生活維持路線を維持します。	↗		事業者の取り組みに協力するとともに、市として市内の移動にバスの利用を促す情報提供等の取り組みを行う		
		3		時刻表や運行ルートのわかりやすい情報を提供します。	↗		H26より公共交通をとりまとめた情報提供を実施 H26は市外アクセスを中心に、H27は市内のアクセスを中心に冊子を作成し、各戸配布をおこなった		
		4		高速バスや路線バスの拡充による近隣市や阪神間等への通勤・通学の利便性の向上を図ります。	↗		事業者への拡充見直し要請 (高速バス神戸行H25年7月増便)		
		5		北条鉄道の経営支援と利用促進策を実施します。	↗	北条鉄道の利用者数	安全輸送のための設備投資に国・県に協調補助を行っている。 市単独で上記補助対象とならない整備に対して補助を行っている。		
		6		通勤通学圏の拡大を図るため、JR山陽本線等への接続向上を図ります。	廃止				
		7	1-1	子育て世帯等の移動手段を確保するため、妊婦及び未就学の子どものお母さんについて、ねっぴ〜号の運賃を無料化します。	新規	コミバス年間利用者数			
		8	4-69	北条鉄道各駅へのアクセスの改善を図るため、コミュニティバスの再編等を実施し、公共交通ネットワークを構築します。	新規	北条鉄道年間輸送人員数			
15	住みよい住環境	1		都市公園等の計画的な管理と保全により活用を促進します。	→		指定管理者の活用により、適切な公園管理に努めるとともに、公園利用者の利便性の向上を図っている。	△	
		2		玉丘古墳等、未整備な史跡を計画的に整備し、活用を図ります。	→		史跡整備基本計画策定をH26からH27に修正	○	
		3	4-70	国道372号や主要幹線道をはじめとする道路網を整備します。	→		市道西谷坂元線について、H18年度事業着手し、H26年度までに1,680mの区間の整備を行った。H27年度歩道BOXの供用開始、H29年度事業完了を目標に事業を推進する。その他の主要幹線道路についても、計画的に整備を行っている。	○	
		4		自転車歩行者道やガードレール等の安全施設の整備を行います。	→	歩道設置距離	市道玉丘常吉線歩道設置について、H23～H27年度に420mを整備。H28年度末の全線整備(520m)を目標に事業を推進する。		
		5		橋梁の点検を行い、長寿命化計画を作成して計画的な維持補修を行います。	→		H23～24年度に市内251橋の橋梁点検を行い、H26年度から橋梁長寿命化計画に基づき、調査・設計・修繕工事を行っている。H28年度以降についても、計画的に定期点検・修繕工事を実施していく。		
		6		河川の維持管理の強化と未改修河川を整備します。	→		H23年度以前についても定期的な河川バトロールを実施し、必要な路線について計画的に河川改修を行っている。H28年度以降も引き続き河川バトロールを強化し、適切な河川管理に努める。		
		7		公共施設等に関するわかりやすい案内表示板等、ユニバーサルデザインの導入を推進します。	→		H26年度に、加西工業団地において、案内標識を設置した。H28年度以降も要望に応じ事業実施の検討を行っていく。		

前期基本計画評価・検証一覧表

■基本政策 誰もがみんな元気で安心して暮らせる加西

×・・・0%、△・・・25%、○・・・50%、◎・・・75%、終了・・・100%

施策番号	施策名	枝番	戦略アクションプラン番号	基本計画等	取組方針	指標	取り組み・課題	達成率	備考	
16	社会参加を通じた生きがいづくり	1		高齢者学級の充実等、定年退職世代の技能を役立てる情報提供や就労講座を実施します。	→	高齢者講座受講者数	公民館広報誌等で参加者を募集するほか、老人クラブなどで参加勧奨を行っている。	○		
		2		シルバー人材センターとの事業連携を進め、福祉、家事援助、農業支援等、高齢者の就業機会の開拓、拡充を支援します。	→	シルバー人材センター会員数	シルバー人材センターに対して、厚生労働省が定める基準に基づき、各種補助金を支出し、運営の補助を実施する。	◎		
		3		老人クラブ活動等、高齢者自身が企画運営を進める事業を支援します。	→	高齢者ボランティア数	地域でボランティアの核となる人材を養成を行った。毎年、レベルの異なる講座を2回実施してきたが、同じ人が受講するなど、新規受講者が伸び悩んでいる状態である。			
		4		障がい者の集いの場となるサロン事業等、障がい者団体の活動活性化と支援を拡充します。	→	障がい者サロン参加者数	社会参加を促すための事業として、障害者社会参加促進事業を実施し、6団体が社会見学、料理教室、体操教室を行うなど社会参加の促進と障がい者の理解に努めた。			
		5		市役所内就労支援や障がい者雇用の拡充を図るための就労フェア等、社会参画機会の拡大と環境づくりを進めます。	→		障がい者相談支援センターに、就労支援員を配置し、就労支援事業所や企業とも連携し就労支援や定着支援を行った。また、就業訓練事業として庁内作業を委託するとともに庁内でのバザー販売の場所の提供を行った。			
		6	3-61	シニア世代の定住化の推進の一環として、地域資源を活かした加西市に相応しいCCRC構想の具体化を図ります。	新規	CCRC整備構想とりまとめ				
17	こころと体の健康づくり	1	5-80	特定健診やがん検診、歯周疾患検診等の受診率向上のための地域体制を構築します。	→	がん検診受診率	がん検診受診率向上対策としては、節目年齢に無料クーポン券の配布や集団乳がん検診の日数の増、土日の町ぐるみ健診での託児を実施をした。クーポン券の利用は受診のきっかけづくりには有効である。	○		
		2	1-2	予防接種の助成制度を継続します。	↗		高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種料の助成を、定期対象外で希望する市民に実施、協力医療機関で予防接種を実施。H25・26年度に流行した、風しんワクチンの接種料の助成を実施。			
		3		健診後の結果を生活に活かせるよう食生活、運動の相談支援体制を充実させます。	→	運動を心がけている人の割合	市民の希望により、医師・保健師・栄養士・運動指導員からアドバイスを受けることができるスマイル健康相談の実施。生活習慣をふり返る貴重な機会・健診結果の振り返る場として、個別相談のニーズが高まっている。			
		4		地域の健康づくりを目的とした自主的な地区組織活動を支援します。	→		いずみ会やゆうゆう会と連携し、市民に健康福祉まつり等で食育や健康体操の普及をした。			
		5		健康づくりのための拠点施設を充実します。	→		健康相談等の保健活動や運動ポイント事業から運動のきっかけづくりをし、運動教室の新規利用者や継続者が増加。毎年50～70人の新規利用者がある。60歳代以降の高齢期が多く若い世代の利用が少ない。			
		6		こころの健康を維持するための相談体制の充実や専門組織との連携を強化します。	→		地域での気づき等のため、ゲートキーパー研修を、民生児童委員・協力員・市職員等に対象を変えて、ほぼ毎年実施してきた。27年度は2月・3月に市民を対象に、実施予定。自殺率は低下してきているが、高齢者は高い状態が続いている。			
		7		健診や教室を通じて各世代に望ましい食習慣確立のための支援を行います。	→	野菜を毎食食べる人	公民館や町ぐるみ健診会場、また健康福祉まつりや食育実践事業等でバランス食や野菜摂取について普及啓発をした。			
		8	1-2	任意予防接種費用の助成						17-2へ移動
		9	1-19	特定不妊治療に対する支援を行います。	新規	治療助成年間件数				
		10	5-79	歩くまちづくりの推進のため、市民の誰もが歩いて暮らす健康づくりの環境整備を進めます。	新規	健幸ポイント事業参加者(平成27～31年度累計)				

前期基本計画評価・検証一覧表

■基本政策 誰もがみんな元気で安心して暮らせる加西

×・・・0%、△・・・25%、○・・・50%、◎・・・75%、終了・・・100%

施策番号	施策名	枝番	戦略アクションプラン番号	基本計画等	取組方針	指標	取り組み・課題	達成率	備考
18	地域医療体制の充実	1		加西病院における医療者を確保し、安全な医療体制を構築します。	↗		過去5年間の実施事業については、医療制度改革への対応中新専門医制度への対応を除き実施できた。今後はもっと市民の皆様に対して認知度を向上させるとともに、信頼できる病院を目指していきたい。	◎	
		2		加西病院における高度医療を充実します。	↗	加西病院への紹介患者数	病診連携、救急連携のための取組については、鋭意努力している。また、高度医療機器更新についても、限られた予算の中で積極的に更新を行い、病院機能の向上に努めている。		
		3		県、医師会、病院との連携を強化します。	→	病院・診療所数	医師会・歯科医師会と打合せを持ち事業実施。市民の健康管理として医療機関健診を実施し、特定基本健診は増加傾向にある。	◎	
		4		保健、医療、福祉、介護の連携を密にし、これらのサービスが適切にうけられる体制を確保します。	→		地域医療市民フォーラムを開催し、加西市の地域の医療の現在と未来について共有した。		
		5		医師会による休日の医療体制を確保します。	→		休日診療に加え、27年度から年末年始の休日歯科診療を開始。今後も継続実施していく。		
		6	1-4	開設費用に対する補助を行うことにより、市内に新たに産婦人科医院等を誘致し、安心して出産できる環境を整備します。	新規	産婦人科医院等の開設			
19	地域で支え合う安心の暮らし	1		高齢者や障がい者、及びその介護者を支援するため、施設サービスを含め、介護、福祉サービスの充実や地域包括支援センター等を核とした総合的な支援体制を強化します。	→		地域活動支援センター設置のための支援を行い、平成25年、26年にそれぞれ1ヶ所開設し、障がい者の日中の居場所の確保を行った。また、H27年には生活介護の事業所が開設された。	○	
		2		ひとり暮らしや高齢者夫婦世帯への地域に密着した配食サービスを拡充します。	→	配食サービス配食数	平成23年度から配食数を順次増やし、なるべく多くの要望に応えることができるよう取り組んでいる。		
		3		要介護高齢者の通院等外出支援のために移送サービスを充実します。	→	高齢者外出支援サービス事業利用延べ件数	利用できる範囲を拡充する等、利用者の便宜を図るようにした。		
		4		地域が主体となった小地域福祉活動を推進し、地域の介護予防リーダーの養成とその活動を支援します。	→	介護予防リーダー養成数	これまでは主にサロン等で活躍してもらえよう内容が中心でしたが、受講する人が飽和状態に近くなっていった。		
		5	5-81	大学等との連携による高齢者の介護支援(介護予防)	新規	連携カフェ年間開催数			
		6		あったか声かけ作成の推進	新規				

前期基本計画評価・検証一覧表

■基本政策 誰もがみんな元気で安心して暮らせる加西

×・・・0%、△・・・25%、○・・・50%、◎・・・75%、終了・・・100%

施策番号	施策名	枝番	戦略アクションプラン番号	基本計画等	取組方針	指標	取り組み・課題	達成率	備考
20	防犯・防災のまちづくり	1		地域の高齢者、障がい者等の居住地を把握し登録することで、的確かつ迅速な救助活動を行います。	→		①災害時要援護者台帳登録者1300人 ②台帳登録を希望されない者600人 ③潜在的な要援護者 300人 ②+③の900人が未登録となっている。	◎	
		2		災害時の一時的な避難場所や活動拠点となる公共施設の耐震化を推進します。	廃止				
		3	5-89	北はりま消防本部との連携や自主防災組織、消防団組織の活性化を図り、防災対策を充実します。	→	訓練・研修 資器材補助	消防防災施設等事業補助金交付事業を創設し、資器材補助を充実させた。 消防団組織再編については、自治会により事情が違うため困難が予想される。		
		4		通学路防犯灯を増設し、LED防犯灯に順次切り替えます。	→	防犯灯のLED化率	カルバートボックス内防犯灯のLED化実施。 平成27年度以降も新設防犯灯をLED灯にて設置予定。		
		5		青色防犯パトロールによる巡回活動を充実します。	→		平成25年度より青色防犯パトロールの専属パトロール員を配属し、総合教育センターとも協力し、市内の防犯パトロールと登下校の見守りを実施、廃屋の調査も同時に行う。		
		6		警察や交通安全協会等との連携を強化し、免許返納制度を推進します。	→	高齢者における人身事故加害者率	免許返納の推進とともに高齢者の交通事故防止のため老人クラブを対象とした交通安全教室などの啓発活動を推進する。		
		7		老朽危険空き家問題に取り組み、安全安心のまちづくりを推進します。	新規				
		8		防犯カメラの設置により、犯罪の未然防止に努めます。	新規				

前期基本計画評価・検証一覧表

■基本政策 誰もがみんな元気で安心して暮らせる加西

×・・・0%、△・・・25%、○・・・50%、◎・・・75%、終了・・・100%

施策番号	施策名	枝番	戦略アクションプラン番号	基本計画等	取組方針	指標	取り組み・課題	達成率	備考	
21	安心できる子育て支援	1	1-20	妊娠初期からの相談支援体制を整備し、乳幼児健診を充実します。	→		母子手帳交付時、保健師による相談を実施し、妊娠前から支援し、訪問や健診により疾病の早期発見だけでなく子育て支援を実施している。離乳食講習会(初期食)を8回から12回に増やし、乳幼児保健相談での歯科相談を2回から4回に増やし実施した。			
		2	1-6	事業間の横の連携を強化して相談機能を充実します。	↗	ひろば事業	子育て学習センターとして運営していた、ほくぶキッズとぜんぼうキッズをこども未来課で運営し、翌年にはまーぶるキッズもこども未来課で運営し広場事業の集約を図った。利用者支援事業の実施により、利用者の個別ニーズを把握し、情報集約・相談の実施。関係機関との連絡・調整を図った。	◎		
		3		療育事業の拡充による幼少期から成人期への切れ目のない支援を確立します。	廃止		H27年度 こども未来課へ所管替			
		4	1-21	地域ぐるみの子育て支援により児童虐待防止を推進します。	→		・ファミサポ会員養成講座6回、交流会4回、11月児童虐待防止推進月間啓発活動を実施、会員増、事故なく活動を行うため会員研修に取り組んだ。ひとり親家庭向け利用料助成をPRし、利用しやすくした。要保護児童対策地域協議会として、初めて児童虐待防止推進月間講演会を開催、啓発に取り組んだ。関係機関連携強化に向け、協議会の在り方等検討し直した。			
		5	1-23	学校との連携を強化し、学童保育を拡充していきます。	→	学童保育受入率	賀茂及び宇仁学童保育園を開園し、全校区で全学年の受入を実施した。開園時間を18:30まで延長した。北条東学童保育園専用棟を建設した。			
		6	1-22	幼稚園、保育所の一体化と民間活用を進め、保育サービスを拡充します。	↗	認定こども園の普及	北条東幼稚園と北条南保育所を統合し、北条東こども園を開設した。認定善防こども園の開設に向け整備を行った。	◎		
		7	1-12	申請手続、保育時間の延長、第2子以降の保育料の無料化等、住民ニーズに対応した保育サービスの見直しを進めます。	↗		4・5歳児の保育料の無料化など、住民ニーズに対応した保育サービスの見直しを図り、充実させるための保育士確保が課題。			
		8	1-13 1-14	多様な住民ニーズに合わせて休日保育や病児・病後児保育等の新たなサービスを実施します。	↗	休日保育実施園数 病児・病後児保育実施園数	病児保育を実施し、病気で保育所等に通えないこどもを一時的に預かり子育てしやすい環境整備を図った。利用者の少ない日に、保育所等への情報提供や巡回支援を実施し、事業の周知を図った。利用者増加に向けての取組みが課題。			
		9		地域の保育サポーターやプレリーダーを養成します。	→	ファミリーサポートセンター協力会員数	ファミサポ会員養成講座6回、交流会4回、11月児童虐待防止推進月間啓発活動を実施、会員増、事故なく活動を行うため会員研修に取り組んだ。ひとり親家庭向け利用料助成をPRし、利用しやすくした。	◎		
		10	1-18	乳児医療対象年齢を中学3年生まで拡充します。	→	中学3年生までの医療受診	H24.7より県の制度変更により、中学3年生までの医療費助成が拡大。しかしながら、県制度では一部自己負担額が生じるため、市単独事業として自己負担部分を無料化。また、H27.4月からは、公費負担医療の対象者の自己負担部分も助成を開始。			
		11	1-3	妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない相談や産後ケア等の支援体制を整備します。	新規	産後ケア助成制度の利用率				
		12	1-5	ひとり親家庭の支援を行います。	新規	ひとり親家庭の支援制度のメニューの充実				
		13	1-6	子どもたちや若い子育て世代のニーズに合わせて必要な支援を選択して利用できる、加西市の子ども・子育ての総合的な拠点施設として、未来型児童館をアクセスしやすい市街地に設置する。		児童館施設				21-2へ移動
		14	1-7	子育て世帯の経済的負担の軽減を図るとともに、地域における子育て支援サービスの充実を図ります。	新規	子育て応援券制度対象者数				
		15	1-8	子育て応援企業の支援を行います。	新規	セミナー年間参加者数				
		16	1-9	「赤ちゃんの駅」の指定を行い、子育て支援を行います。	新規	「赤ちゃんの駅」設置数				
		17	1-10	遊びながら学べる屋内遊具施設を誘致し、雨の日でも遊べる環境を整備します。	新規	屋内遊具施設の誘致				
		18	1-11	空き家を活用した子育て支援を行います。	新規					
		19	1-14	子育て情報の発信に努めます。		子育てNAVI1日平均閲覧数				21-8へ移動

前期基本計画評価・検証一覧表

■基本政策 誰もがみんな元気で安心して暮らせる加西

×・・・0%、△・・・25%、○・・・50%、◎・・・75%、終了・・・100%

施策番号	施策名	枝番	戦略アクションプラン番号	基本計画等	取組方針	指標	取り組み・課題	達成率	備考
		20	1-15	多子世帯及びひとり親家庭の下水道基本料金を減免し、子育ての経済的負担の軽減を図ります。	新規	減免年間世帯数			
		21	1-16	乳幼児のいる世帯等に市指定ごみ袋を配布し、経済的負担の軽減を図ります。	新規	ごみ袋年間支給枚数			
		22	5-82	就学前教育から小学校教育等への連携推進 →【施策5-1に明記済】		情報交換会、合同研修会の開催			5-1へ移動

前期基本計画評価・検証一覧表

■基本政策 地球に優しい環境都市加西

×・・・0%、△・・・25%、○・・・50%、◎・・・75%、終了・・・100%

施策番号	施策名	枝番	戦略アクションプラン番号	基本計画等	取組方針	指標	取り組み・課題	達成率	備考
22	自然と共生する里山里山づくり	1		住民参加による地域の里山整備を支援します。	→	里山整備箇所数(毎年)	目標箇所数を概ね達成している。相談を頂くが面積要件が厳しいため取り組めない町もある。	○	
		2		企業や都市住民を募り、里山ふれあいの森、企業の森として都市部との相互交流を進めます。	→		H25年度 完了		
		3		市内の自然環境に生息する多様な生物を調査、把握し、その環境的意義を示し、保全、回復と利活用を推進します。	→		加西市民の美しい環境をまもる条例に基づく野生生物保護地区指定、北播磨県民局と連携したハード整備事業を実施しています。加西市教育委員会の公民館活動と連携した担い手の育成プログラムを実施しています。	◎	
		4		老朽化による決壊等、危険度の高いため池を順次改修します。	→		県と地元の調整	○	
		5		有害鳥獣対策による農作物の被害を防ぐために関係機関との連携を図り、防獣柵の設置等を進めます。	→	有害鳥獣被害額	防護柵の設置は順調に進んでいるが、国・県の支援が引き続き必要。出没地域は年々南下しており、今後の被害が広域化する可能性がある。		
		6		不在地主の把握と利用促進のための賃貸借を斡旋する窓口を一本化し、耕作放棄地の解消と農地の有効利用を進めます。	→	耕作放棄地面積	平成30年に農業振興地域総合見直しを実施にあたり土地改良区事業を実施していない農用地を総合的に見直しをする。		
23	加西の風土を活かした景観づくり	1		有形無形を問わず、地域にある自然的文化的遺産(お宝)や伝承等を収集し、一覧にまとめます。	→		ボランティアガイドなど各種団体の協力のもと、市内の観光資源を掘り起し、ガイドブックを作成していった。		◎
		2		将来に伝えたい景観の選定や写真展、学習会、ウォーキング等のイベントを開催します。	→		今年度はふるさと加西(まつり)フォトコンテストを2回開催し、カレンダーを作成。記念ウォークについては、神祇と共催で10回、ボランティアガイド養成講座は年11回開催しました。		
		3		広告物の表示については、景観との調和に努めます。	→		屋外広告物の新規申請時及び更新手続き時に、屋外広告物条例に基づく指導により、景観との調和に努めた。また、屋外広告物の適正化を図るため、定期的にパトロールを行った。	○	
		4		開発調整条例に基づく景観に配慮した適正な土地利用を推進します。	→		新たな土地利用や市街地の土地利用の促進のため、平成26年4月に制度の見直しを行い、実態に即した適切な指導と助言を行っている。		
		5		緑のカーテンコンテストを推進します。	廃止		個人・事業所・公共施設等において、緑のカーテンをまだ育成したことがない「緑のカーテン育成未経験者層」に対して、コンテストを実施することにより、身近にできる夏場の節電・暑気対策、CO2排出削減になる緑のカーテンの普及啓発や取組促進を行った。	終了	
		6		花咲くまちづくりを推進します。	→	住民ボランティアによる植栽ポット数	花と緑の協会に支援を行い、花咲くまちづくりを推進している。	○	
24	省エネ・蓄エネ・創エネの推進	1		公共施設の新設、改築の計画、設計等に省エネルギー基準やガイドラインを設け、適用します。	→		デマンド監視システムの運用によって、節電・電灯間引き・空調の適正運用などソフト面での省エネ行動は定着しており、電気などのエネルギー使用量の継続的な削減が図られており、一定の成果が認められます。	◎	
		2		民間による環境技術、新製品開発及び環境産業を行うための施設整備への助成、融資を行います。	→		ベルデしもさと購入者に対して、加西市グリーンハウス建築促進補助制度の利用促進を図るとともに、補助金の交付事務を行った。	○	
		3		住宅用太陽光発電システムの設置を促進支援します。	↗	住宅における太陽光発電量	住宅用太陽光発電システム設置補助については、一定の成果を得たので廃止も含め見直しを検討しますが、新たに電気自動車、蓄電池等の普及促進を図ります。	◎	
25	水環境のまちづくり	1		上下水道の施設や設備について費用の平準化を図りながら計画的に耐震化を推進します。	→	水道管路耐震化率	・H24に策定したアセットマネジメント、H25に策定した水道ビジョンに基づき実施中。	◎	
		2		下水道の接続促進や合併浄化槽の普及を促進し、水洗化率を高めます。	→	水洗化率	平成27年度より水洗化促進補助金を交付、合わせて職員により戸別訪問を実施し、水洗化を促進する。		
		3		効率的な生活排水処理計画を策定し、計画的な施設の統廃合や改修を行います。	→		・実施設計は完了しているが、統廃合計画に係る生活排水処理計画の変更手続き、農業集落排水処理施設及びコミュニティプラント処理施設の財産処分手続きに時間を要する。		
		4		企業努力による水道事業の効率化、安定化、適正化を進めます。	→		・県企業庁や市川町へ値下げ交渉を行うことで、受水費を削減した。 ・効率的な施設更新、持続可能な水道経営を実現するためH24アセットマネジメント、H25水道ビジョンを策定した。		
		5		公道の透水性舗装を推進します。	→		市道玉丘常吉線、都市計画2号線等において、透水性舗装を施工した。H28年度以降も、「水環境のまちづくり」を推進するため、公道の透水性舗装化を推進する。		○

前期基本計画評価・検証一覧表

■基本政策 地球に優しい環境都市加西

×・・・0%、△・・・25%、○・・・50%、◎・・・75%、終了・・・100%

施策番号	施策名	枝番	戦略アクションプラン番号	基本計画等	取組方針	指標	取り組み・課題	達成率	備考
26	ごみ減量と資源リサイクルの推進	1		ごみ減量と資源リサイクルの推進	→	レジ袋削減協力事業者数(量販店にかかる)	H21年度からレジ袋無料配布中止協定を継続実施する一方、マイバックを作成配布し、レジ袋削減を実施。	◎	
		2		ごみの分別(現23分類)、リサイクルを推進し、ゴミ処理の効率化、適正化を進めます。	→	住民1人1日あたりのゴミ排出量 ゴミのリサイクル率	分別収集として、H26年度より小型家電のターミナル収集を開始、直接搬入された剪定枝の堆肥化、H27年度からの古繊維受入等によるリサイクルを実施。再利用可能な不用品を選別し、期間限定のリサイクルプラザ開催		
		3		バイオマス資源の生産から回収、利用普及までの取り組みを拡充します。	→	廃食用油の回収量	市外回収、BDF生産を終了しましたが、資源リサイクルの一環として、廃食用油の市内回収を継続します。		
		4		美パスへの補助金を拡充します。	→		改正した単価で、集団回収量に応じて奨励金を交付。		
27	環境学習の推進	1		親子で参加できる環境学習を推進します。	→	公民館における環境学習の受講者数(こども)	学校の長期休業日に環境学習講座を社会教育施設で実施している。	○	
		2		環境学習リーダーを養成し、その活動を推進します。	→	公民館における環境学習の受講者数	毎年異なるテーマで引き続き環境講座を開催する。 平成27年度は公民館において、地域の環境保全活動を行うリーダー養成講座を開催予定。		
		3		学校や住民団体、NPO等、様々な主体により取り組まれた環境学習のノウハウを、他の学校や団体が活用できるよう支援します。	→	環境学習実施学校数	小学校3年生における県教委「環境体験事業」の実施を中心として環境教育の充実した実施を行った。中学校における実施に拡大が見られないことが課題です。		
		4		環境に配慮したまちづくりをテーマとして住民と事業者を交えた定期的な学習会を開催します。	→	ISO14001・エコアクション21取得数	これまで、順調にEMS認証・取得事業所数が増えているが、ここ3年は停滞傾向にあります。また、一旦認証取得しても、費用、人手、時間が取られることが原因で、環境取組みは続けていても、制度の認証・取得を継続できない事業所が増えています。	◎	
		5		教員を対象とした環境学習に関する研修を実施します。	→	教員を対象とした環境学習に関する研修	総合教育センターにおいて環境教育に関する研修講座を2講座しか実施できなかった。	-	

前期基本計画評価・検証一覧表

■基本政策 パートナーシップによる地域経営

×・・・0%、△・・・25%、○・・・50%、◎・・・75%、終了・・・100%

施策番号	施策名	枝番	戦略アクションプラン番号	基本計画等	取組方針	指標	取り組み・課題	達成率	達成率に関する理由
28	情報公開と住民自治のまちづくり	1	6-91	自立的な地域づくりのために、専門家や専門職員を派遣します。	→	地域づくりコーディネーター数	地域おこし協力隊員が提案し活動することに加え、定住に向けての支援を実施していく。	○	
		2	6-90	社会活動の促進を図るため、活動の中心となるリーダーの発掘や育成に取り組みます。	→	NPO法人数	政令市・中核市以外では提供していない設立支援サービスを実施		
		3		ボランティア活動希望者と支援を受けたい人との調整を図ります。	→	ボランティア活動希望登録者数及び依頼者数	加西市所管は福祉マターであるため、NPO支援所管部に業務と財源を移管しなければ二重行政となる。		
		4	4-73	まちづくり条例等の制定によって地域協議会(地域ふるさと創造会議)の位置づけや行政の支援体制を構築します。	→	地域協議会設置数	地域担当職員の活躍により、順調に進んできている。人材の発掘事務局体制を整えていく必要がある。		
		5		住民から寄せられる提案、要望、意見に対する回答について、ウェブ情報等を活用して住民との情報共有を図ります。	→		・タウンミーティングでの意見・回答のホームページへの掲載。 ・ふれあい提案箱等に寄せられる意見・提案と回答のホームページへの掲載		
		6	4-72	集落支援員の配置を進めます。	新規	集落支援員数			
29	自己実現と共生のまちづくり	1		男女共同参画社会に関する学習機会を拡充します。	→	男女の労働力率の格差(正 女性の労働力率)	起業相談支援や若者が集える場づくりなどを行い、起業に向けた取り組みのサポートを行っている。	○	
		2		女性の声を地域の組織や団体に反映させる制度を構築します。	→	市の女性管理職登用率	女性グループが行う地域活動に対し、女性の社会進出の促進を図る。		
		3		在住外国人のための学習支援や生活情報の多言語化を推進します。	→	市内における日本語講座の実施教室数	国際交流に関心を持つ市民は微増である。		
		4		姉妹都市との連携による、市民レベルの国際交流を実施します。	↗	市内における各種外国文化関係団体の会員数	ボランティアグループとねひめカレッジが連携して事業実施を行うことで、より効率的な国際交流事業が行える。		
		5		家庭や学校、地域、職場等、あらゆる場と機会を通じて、人権尊重の理念を踏まえ、様々な人権課題に対する教育、啓発を進め、お互いを認め合い、差別を許さないまちづくりを推進します。	→	人権学習会参加者数	人権文化をすすめる市民のつどいを毎年、町別学習会と地区人権学習会を隔年で実施し、その他「愛の詩」の全国公募、啓発リーフレットの全戸配布、公民館とのコラボ事業や加西市人権教育協議会との連携事業を実施してきた。		
30	行政サービスの向上と効率経営	1		新たな定員適正化計画を策定し、必要な部門に職員を重点配置します。	→	市役所の正規職員総数	退職勧奨の実施、民間委託の推進等により純減に取り組んでいる。	◎	
		2		職員の能力や士気を向上させる職員研修を拡充します。	→	職員研修成果発表回数	管理職を対象に、目標管理成果発表会を実施している。今後、発表対象を監督職まで拡充していく。		
		3	6-95	民間活力の導入と広域化を推進し、行政サービスの質的向上に努めます。	→		第5次総合計画の実施計画として位置付けた行財政改革プランについて、3年間のローリングにより毎年度見直しを行っていくこととした。	◎	
		4		資産の有効活用や処分も含め、老朽施設更新計画を進めます。	→		平成27年度から2カ年計画で公共施設等総合管理計画を策定中。		
		5	6-94	行財政改革プランを策定し、予算の段階から財政健全化に向けての取り組みを行います。	↗	基金残高(財政調整+減債) 全会計市債残高 実質公債費比率 将来負担比率	当計画の実施計画となる行財政改革プランに基づき、公債費の抑制、基金の一定水準の確保に取り組んだ。	◎	
		6		自主財源確保のため、市税および公共料金の収納体制を強化し、収納の向上を図ります。	→		市税等については、新たな滞納者を未然に防止するとともに、差押による滞納整理を進めて行く。また、滞納整理の知識やノウハウを習得するとともに、各担当者のスキルアップに努める。		
		7		入札制度改革を進め、適正かつ効率的な事務の執行を図ります。	→		入札制度については平成24年度に予定価格事後公表など大幅な改正を行い、その後も最低制限価格の引き上げなど随時見直しを行っている。		